

基礎・境界 ソサイエティ

ニュース レター

March 2002 No.38



The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

目 次

- 2002 年 総合大会 企画 案内 1
- 平成 13 年度 ソサイエティ企画「出前講演会」報告 3
- 第 15 回 回路とシステム(軽井沢)ワークショップ開催案内 <藤澤 久典(富士通研)> 5
- 2002 年情報理論とその応用国際シンポジウム(ISITA 2002)開催案内
 <森 真作(日本工業大), 小川 明(名城大)> 7
- 研究会案内 8
- 関連行事カレンダー 10
- 論文誌特集号カレンダー 10

2002年 総合大会 企画 案内

早稲田大学理工学部 (東京都新宿区) において 3月27日(水)~ 30日(土)の4日間の日程で開催される標記大会において、基礎・境界ソサイエティでは次の企画を催します。

大会委員会特別企画

JABEE 講演会

3月29日 午後 57号館 201教室

ソサイエティ特別企画

KAD-1 . 平成 13 年度フェロー記念招待講演 (ISS との共催)

3月27日 13:00~15:00 57号館 201教室
座長 大濱靖匡(九大), 石井 信(奈良先端大)

KAD-1-1. 情報理論研究を振り返って
平澤茂一(早大)

KAD-1-2. 情報幾何と神経回路網
甘利俊一(理化学研)

KA-1 . 基礎・境界ソサイエティ特別講演会 (一般公開・聴講無料)

3月27日 15:15~16:45 57号館 201教室
座長 山本博資(東大)
KA-1 . 情報理論と私 - 半世紀を振り返って -
本多波雄(名古屋商科大)

研究会主催フェロー講演会

FA-1 . カオス現象との出会いから複雑系科学への道程
3月29日 13:00~14:05 53号館 404教室
座長 引原隆士(京大)
講師: 上田皖亮(はこだて未来大)

パネル討論

PA-1 . 高精度測位技術と社会基盤 (一般公開・聴講無料)

3月28日 9:30~12:00 53号館 404教室
座長 中川正雄(慶大)
PA-1-1 . 空間情報と社会基盤
村井純(慶大)

PA-1-2 . 測位と空間情報システム
柴崎亮介(東大)

PA-1-3 . 歩行者 ITS と測位技術
池田裕二(国土技術総研)

PA-1-4 . 測位と ITS
長谷川孝明(埼玉大)

PA-2 . Ultra Wide Band (UWB) 技術の可能性

3月28日 13:30-15:30 53号館 404教室
座長 中川正雄(慶大)

PA-2-1 . Ultra Wide Band (UWB) 技術の概要
佐々木重信(新潟大)

PA-2-2 . Ultra Wideband (UWB) 研究の流れと今後の展開
小林岳彦(東京電機大)

PA-2-3 . Ultra Wide Band (UWB) 技術の研究開発課題
河野隆二(横浜国大)

PA-3 . 情報セキュリティ技術における理論と実践の溝をいかに埋めるか

3月27日 10:00~12:00 54号館 303教室
パネラー: 理論側 伊東利哉(東工大) 太田和夫(電通大) 桜井幸一(九大)
実践側 松尾泰一(イーバンク) 宮居雅宣(JCB) 殿村英嗣(YahooJapan)

PA-4 . 個人情報の利用と保護: 学校等ネットワーク運用上の面から

3月27日 13:00~16:30 53号館 404教室
座長 三島健稔(埼玉大)
PA-4-1 . 高等教育機関におけるネットワーク運用
三木哲也(電通大)
PA-4-2 . 学校等ネットワーク運用管理者の権限と責任

原田康也(早大)

PA-4-3. セキュリティ教育と倫理教育のガイドライン

中西通雄(阪大)

PA-4-4. 学校等ネットワーク利用者のためのガイドライン

高橋郁夫(福島県弁護士会)

チュートリアル講演

TA-1. 新世代の回路とシステム理論の展望

3月27日 13:00~16:30 53号館 402教室

座長 副井裕(鳥取大)

TA-1-1. 最近のアナログ回路技術の動向と展望

高木茂孝(東工大)

TA-1-2. 発展を続けるワイヤレス通信技術

安達文幸(東北大)

座長 鹿毛哲郎(富士通研)

TA-1-3. 信号処理分野における新世代の回路とシステム理論への期待

浜田望(慶大)

TA-1-4. システムLSI設計におけるシステムレベル最適化技術

安浦寛人(九大)

TA-2. サブ100nm SoC時代の低消費電力技術

3月29日 13:30~17:00 53号館 402教室

座長 宇佐美公良(東芝)

TA-2-1. モバイル用途組込みプロセッサにおけるシ

ステムレベル低電力技術

入江直彦(日立)

TA-2-2. 低消費電力モバイル・マルチメディア SoC 開発

高橋真史(東芝)

TA-2-3. デバイス技術からみたサブ100nm 低消費電力回路技術

平本俊郎(東大)

TA-3. ブロードバンド時代の大規模通信ネットワークの信頼性

3月28日 13:00~14:00 54号館 301教室

座長 菅原裕彦(NTT)

TA-3. ブロードバンド時代の大規模通信ネットワークの信頼性

渡辺直人(日本テレコム)

TA-4. 3次元画像とヒューマン情報処理

3月29日 8:55~12:00 53号館 404教室

座長 矢野澄男(NHK)

TA-4-1. 3次元空間の認知

近江政雄(金沢工大)

TA-4-2. 3次元空間再生の実空間性・実時間性

前田太郎(東大)

TA-4-3. 3次元画像の視知覚

須佐見憲二(TAO)

TA-4-4. 空間像再生型3次元テレビジョン

岡野文男(NHK)

部門別公募講演件数一覧

部門		一般講演	シンポジウム講演	部門		一般講演	シンポジウム講演
A-1	回路とシステム	45	3	A-12	コンカレント工学	8	8
A-2	非線形問題	34	5	A-13	思考と言語	4	
A-3	VLSI設計技術	31		A-14	ヒューマンコミュニケーション基礎	16	
A-4	デジタル信号処理	72	4	A-15	ヒューマン情報処理	26	
A-5	スペクトル拡散	18		A-16	マルチメディア・仮想環境基礎	53	
A-6	情報理論	10	6	A-17	ITS	45	
A-7	情報セキュリティ	20		A-18	安全性	3	
A-8	情報文化と理論	5		A-19	福祉情報工学	8	
A-9	信頼性	0			合計	429	34
A-10	応用音響	15					
A-11	超音波	16	8				

平成 13 年度ソサイエティ企画 出前講演会 報告

事業担当幹事 大槻知明 (東京理科大)

基礎・境界ソサイエティ主催 (or 共催) の出前講演会「最新技術をわかりやすく紹介する講演会」につきまして、すでに実施された各支部からの報告を頂きました。ここに御報告致します。

日時：平成 13 年 11 月 19 日 (月) 10:40 ~ 12:10

場所：日本大学工学部 ハット NE (大講堂)

演題：圧電結晶がひらく音と光のエレクトロニクス
研究の魅力

講師：東北大学大学院教授 中村信良 先生

主催：電子情報通信学会東北支部

共催：電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ

この講演会は、電子情報通信学会の基礎・境界ソサイエティ主催により、最新の技術を分かり易く紹介するために昨年度立案された学生向け講演会であり、今回がその 1 回目として 11 月 19 日に日本大学工学部において実施された。講演は東北大学大学院の中村信良教授に依頼し、「圧電結晶がひらく音と光のエレクトロニクス - 研究の魅力 -」のテーマのもとで、1 時間半の講演を行っていただいた。立案当初の趣旨は出前講演会的な意味合いを持たせたものにしたかったと聞いていたので、講師の先生には学生が理解しやすいように、できるだけ平易に話していただくようお願いした。講演会の当日には、学生及び教員約 150 名が参加し、司会の鎌野秀三先生の演者紹介後、データプロジェクトを用いて中村先生の講演が進められていった。先生は、師の清水洋先生に師事しておられた当時から、主に圧電材料関連の研究を手がけてこられた、この道の第一人者である。

まず、「超音波とは？圧電体とは？」に始まり、超音波の発生や共振子として使われる、強誘電体からできた多結晶の圧電セラミック材料や、また水晶、LiNbO₃、LiTaO₃、KNbO₃ 等の単結晶材料の説明がなされた。続いて、先生が現在力を入れておられる LiNbO₃、LiTaO₃ 結晶のドメイン反転現象の発生メカニズムについての説明がなされた。また、弾性表面波や、清水・中村両先生等が発見された純粋な横波 (SH 波) の表面波 (BGS 波) についての説明もあった。

更に、圧電材料が持つ特長を生かした各種圧電デバイスの応用に移り、バルク波デバイス、表面波デバイス、

音響光学デバイス等の面から話が進められた。カメラなどに使われている高トルクで高効率の超音波モータ、カーナビやビデオカメラの手ぶれ防止用などに使われている圧電振動ジャイロ、液晶ディスプレイ冷陰極管の高圧電源用高圧トランス、また現在携帯電話を始めとし、多くの電子応用機器等に用いられている SAW フィルタや、中村先生が発見され広く実用されている横波 SAW デバイス用 36 °Y-X LiTaO₃ 基板などの説明が大変分かり易くなされ、学生達も関心を持って熱心に耳を傾けていた。最後に、今後の情報量の高密度化を予想し、波長多重光通信方式への圧電素子の応用として、チューナブル光フィルタなどの将来的な応用の説明で講演会を終了した。なお、講演終了後に質問が 2 件ほどあった。

今回の講演会は、学生には普段あまり耳にすることのない最先端技術の講演会であり、難しいところも先生特有の話法により大変分かり易く解説がなされたので、所期の目的が十分に達成できたと思う。また、学生諸君への教訓として、研究など何事を行うにしても「粘り強い努力」こそが最も良い結果を生む源であることを強調し、講演会を閉めていただいた。

最後に、お忙しい中にもかかわらず、時間を割いてご講演をいただきました中村信良先生と、講演会の機会を与えていただいた電子情報通信学会に感謝いたします。

小林 力 (日本大学 工学部 電気電子工学科)

日時：平成 13 年 10 月 19 日 (金)

場所：北見工業大学

演題：DVD の開発とその国際規格化をどう進めたか？

講師：株式会社東芝 山田尚志 氏

主催：電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ

去る 2001 年 10 月 19 日、北見工業大学において基礎・境界ソサイエティと信学会北海道支部の共催で、山田尚志氏 (東芝) を講師に迎え「DVD の開発とその国際規格化をどう進めたか？」と題する学生向け講演会が開催された。当日は学生約 60 名と北海道支部会員約 10 名の合計約 70 名が熱心に聴講した。

山田氏は、持参のポータブル DVD プレイヤーで実演によって DVD の魅力を語られたのち、実際のハードウェア開発について述べられた。DVD の記録密度

はCDのそれに比べて約6倍に増加しているが、これは各部のマージン見直しや、システムの工夫による地道な改善の積み重ねで達成されたものであり、光ピックアップやディスクなど、どこか1箇所のハードウェアの劇的改善によって達成されたものではないこと、従って、総合的な立場からのシステム設計がこの改善を達成する上での大きな要因であった事を説明された。ハードウェア的に大幅な改善の余地が見込めないシステムでも、システム全体の見直しによって、大幅なパフォーマンスの改善ができるということを実例で示した点にDVDシステム開発の真骨頂があり、システム設計の面白さはそこにあることを強調された。

また、ソフト面では、当初から動画とマルチメディア的な利用だけでなく、計算機の記憶装置としても使うことを想定していたことを述べられ、DVD国際規格化の流れについても説明された。ハードウェアメーカーだけでなくハリウッドの映画産業をどのように巻き込んで行ったか等、臨場感溢れるお話を伺う事ができ、多数の参加者が興味深く聴講した。講演終了後の質疑応答もハードとソフトにわたって活発になされ、あっという間に予定の90分が過ぎた。

DVDの普及が本格的になり、多くの家庭でDVDを楽しむようになってきた。日本が中心となってDVDのハードウェア開発を行なったことは良く知られているが、残念ながら国際規格化も日本主導で進められた数少ない例であることは余り意識されていないようである。今回の講演会で、DVDは名実ともに日本発のデファクトスタンダードであることが若い参加者にも認識され、将来、彼らが新しいシステムを開発すると

きの拠り所になるのではないかと、世話人としては期待する次第である。

谷本 洋(北見工業大学 工学部 電気電子工学科)

日時：平成14年1月25日(金) 14:00~15:30

場所：中央電気倶楽部 513号室

演題：CGとバーチャルリアリティ

講師：宝塚造形芸術大学教授・(株)オオムライメー
ジラボラトリ代表取締役 大村皓一 先生

主催：電子情報通信学会関西支部学生会

共催：電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ

掲題の講演会が予定通り行われた。受講者は関西支部内の大学学部生、大学院生を中心に企業からも若干名参加があり、総勢35名となった。講演は主にビデオを用いて行われ、先ず1970年代にコンピュータを自作しながら行ったCG開発から始まり、1980年代にほぼ現代のCGの基礎が固まったこと、および現時点でのCG、バーチャルリアリティ、および将来の可能性など難しい内容を学生に分かりやすく解説していただいた。特に、CG黎明期に先生と若い学生がCGの面白さ、可能性を信じて今のパソコン時代には考えられない苦勞を味わいながら開発して行った話は印象的であった。参加者は熱心に聴講し、刺激を受けたようである。熱心な質疑応答があり、予定時間を30分以上超過してしまったので途中で打ちきったほどの盛況であった。本講演は基礎・境界ソサイエティの出前講演会の企画で行われました。本講演の機会を与えられた基礎・境界ソサイエティに感謝致します。

関西支部学生会顧問 畠山賢一

第 15 回 回路とシステム (軽井沢) ワークショップ論文募集案内

実行委員長 藤澤 久典 (富士通研)

第 15 回回路とシステム (軽井沢) ワークショップを下記の要領で開催いたします。今回、第 15 回という節目を迎えるにあたり、惑星物理学の権威である松井孝典氏 (東大) によりまず特別招待講演をはじめ多彩なプログラムを用意しております、研究者間の技術交流の場として、また最先端の研究に接する絶好の機会ですので、皆様奮ってご参加ください。

開催日：平成 14 年 4 月 22 日 (月), 23 日 (火)

会場：軽井沢プリンスホテル西館・国際会議場 (北佐久郡軽井沢町軽井沢 TEL (0267)42-1111)

特別招待講演：

- ・宇宙から見た地球 我々とはいかなる存在か？, 松井孝典 (東大)

招待講演：下記の招待講演などを企画しています。

- ・SOC/SIP 時代の配線アーキテクチャ, 益一哉 (東工大)
- ・CMOS 高速シリアル/パラレル・リンクのための集積回路技術,
中村和之 (九工大), 山口晃一 (日本電気), 弓仲康史 (群馬大), 吉河武文 (松下電器)
- ・高度福祉社会を目指した 21 世紀の高齢者・障害者支援技術, 浅川智恵子 (日本 IBM), 入野俊夫 (NTT)
- ・システム LSI の特許動向と特許情報の活用方法, 大嶋洋一 (特許庁)
- ・インタフェース・セントリック・デザイン, 鈴木敬 (日立製作所), 岩下洋哲 (富士通研究所)
- ・量子計算とペトリネット, 辻孝吉 (愛知県立大)
- ・ネットワーク設計理論, 滝根哲哉 (京大), 伊藤大雄 (京大)

参加費：

	4/10 迄に申込	4/11 以降に申込
会員 (電子情報通信学会, IEEE もしくは電気学会)	20,000 円	22,000 円
非会員	25,000 円	27,000 円
学生	8,000 円	9,000 円

(いずれも論文集代, 懇親会費を含みます)

参加申込：

次のホームページにて参加申込をしていただく予定です。

<http://www.ieice.org/ess/kws/>

参加費は会場受付にてお支払い下さい。なお、軽井沢プリンスホテルに宿泊なさらない場合でも参加申込は必要ですので、必ず事前にお申し込み下さい。Web による参加申込が利用できない場合は下記問合せ先に参加申込書をご請求の上、E-mail もしくは FAX にてお申込下さい。

参加に関する問い合わせ先：

和田 和千 (参加担当幹事)

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1

豊橋技術科学大学情報工学系

Tel: 0532-44-6755

Fax: 0532-44-6757

E-mail: wada@ics.tut.ac.jp

交通：

電車 JR 北陸新幹線, 軽井沢駅からタクシー 5 分, 徒歩 15 分

車 上信越自動車道碓氷軽井沢 IC から 10km

宿泊費：

参加申込時に以下の特別料金(サービス料, 諸税込)による軽井沢プリンスホテルならびに千ヶ滝温泉ホテルの宿泊を受付けます。ただし, 4月21~23日の宿泊に限ります。

○ 軽井沢プリンスホテル：

+ 西館ツインルーム

- ・ ツイン1名利用 19,200円(ツインのシングルユース)
- ・ ツイン2名利用 10,200円(ツイン)

+ プリンスコテージ

- ・ コテージ(4名用)3名利用 8,200円/人(Aタイプ)
 - ・ コテージ(4名用)4名利用 7,200円/人(Aタイプ)
- プリンスコテージAタイプはツイン2部屋(4名定員)
Aタイプは1棟にバストイレが1ヶ所となっています。

+ 軽井沢千ヶ滝温泉ホテル(中軽井沢)

- ・ ツイン1名利用 10,200円(ツインのシングルユース)
 - ・ ツイン2名利用 5,200円(ツイン)
- 軽井沢プリンスホテル会場への送迎バスは, 朝夕1便運行(約20分)。途中, 会場を退場し軽井沢千ヶ滝温泉ホテルにお帰りの際は, タクシーまたは他の交通機関をご利用ください。

○ 注1：

1名でも4名利用コテージなどを1名の料金で御利用頂けます。ただし, 同室希望者がいらっしゃらない場合には, ホテル側のアレンジに任せて頂きます。

○ 注2：取り消し料について

14日前~8日前：10

7日前~前日：20

当日：80

当日無連絡不参加：100

宿泊申込：

所定の宿泊申込書に, 氏名, 連絡先, 日程などを明記して, E-mailまたはFAXで次の申込先にお送り下さい。

西武観光

E-mail: y.tsuchiya@seibu-group.co.jp

TEL: 03-3981-8181

FAX: 03-5391-3636

担当：土屋, 関根

振込の通知をお送りしますので, 宿泊費は事前にお振込下さい。

宿泊申込書は, 下記ホームページから御入手下さるか, あるいは下記連絡先に請求下さい。

宿泊申し込み締切日：

宿泊申込は平成12年4月15日(月)となっております。なお, 締切日以降でも空室があれば宿泊できますので, その際は上記宿泊申込先までお問い合わせ下さい。

宿泊に関する問い合わせ先：

中西功(会計・会場・宿泊担当幹事)

〒680-8551 鳥取県鳥取市湖山町南4-101

鳥取大学教育地域科学部地域設計学講座

Tel: 0857-31-5136

Fax: 0857-31-5136

E-mail: isao@fed.tottori-u.ac.jp

* 回路とシステム(軽井沢)ワークショップのホームページ最新の情報は, 次のWebドキュメントを御覧下さい。<http://www.ieice.org/ess/kws/>

2002 年情報理論とその応用国際シンポジウム (ISITA2002) 開催案内

森真作 (日本工業大), 小川明 (名城大)

ISITA2002 を以下の要領で開催いたします。多数の方々の御参加及び論文発表をお待ちしております。なお、シンポジウムの詳細につきましては下記の ISITA2002 ホームページをご覧ください。

日時：

平成 14 年 10 月 7 日 (月) ~ 11 (金)

場所：

西安国際会議場, 中国西安市

分野：

誤り制御符号, 符号化変調, 通信方式, 光通信, 検出・推定, 移動体通信, スペクトル拡散通信, パターン認識, 信号処理, 音声・画像処理, 情報源符号化, シヤノン理論, データネットワーク, 確率過程, 分散型情報ネットワーク, ニューラルネットワーク, データセキュリティ, 暗号, カオス・フラクタル, VLSI 通信, その他

論文投稿受付期間：

平成 14 年 5 月 1 日 ~ 6 月 2 日

参加申込締切：

平成 14 年 7 月 31 日

問合せ先：

E-mail : isita2002@katayama.nuee.nagoya-u.ac.jp

ホームページ : <http://isita2002.katayama.nuee.nagoya-u.ac.jp/>

研究会案内

研究会	予定	発表申込連絡先
回路とシステム (CAS)	3/4-5 (徳島)「ネットワークプロセッサ、通信のための信号処理、および一般」CS・DSP 共催 [✓切済], 6/27-28 (広島大)「信号処理, LSI および一般」DSP・VLD 共催, 9月 (阪大)「非線形回路とシステムおよび一般」NLP 共催, 11月 (福井大)「グラフ, ペトリ, ニューラルネット, および一般」CST 共催, 1月 (和歌山・白浜温泉)「一般」, 3月 (福島・日本大)「通信のための信号処理, および一般」CS・DSP 一般, ! (研究会ホームページ上で受け付けております)	藤澤久典 (富士通研) fujisawa@flab.fujitsu.co.jp
	http://www.ieice.org/ess/cas	
情報理論 (IT)	3月 (サブソサイエティ大会, 招待講演, 一般), 5月 富山大 (一般), 7/15,16 玉川大 (フレッシュマンセッション, 一般), 9月 信州大 (一般), 12/3-6 群馬 (招待講演)	西島利尚 (法政大) tnishi@k.hosei.ac.jp 大濱靖匡 (九大) oohama@csce.kyushu-u.ac.jp
	http://ieice.kmb.info.gifu-u.ac.jp/	
信頼性 (R)	3/22 (機械振興会館), 4/26 (機械振興会館):「光部品の実装, 信頼性」, 5/17 (流通科学大学):「信頼性理論, 信頼性一般, ソフトウェアの信頼性」, 6/14 (機械振興会館):「システムの信頼性, 信頼性一般」, 9/20 (機械振興会館):「試験法, 法規関係, 信頼性理論, 信頼性一般」, 10/18 (九州大学):「信頼性一般」, 11/15 (大阪・中央電気倶楽部):「電子部品の信頼性, 信頼性一般」, 12/20 (機械振興会館):「保全性, 安全性, 信頼性一般」, 2/21 (四日市・住友電工):「機構部品の信頼性, 信頼性一般」	柳繁 (防衛大) shigeru@nda.ac.jp 陶山貢市 (東京商船大) suyama@icp.tosho-u.ac.jp
	http://www.ieice.org/~r/	
超音波 (US)	4/22 (機械振興会館), 5/20 (電通大), 6/28 (東工大), 7月 (東京), 8/27 (千葉大), 9/19-20 (東北大), 10/25 (湘南工科大), 11/29 (静岡大), 12/16 (東工大), 1/23-24 (関西大), 2/21 (三菱電機)	野村徹 (芝浦工大) nomurat@sic.shibaura-it.ac.jp 橋本研也 (千葉大) ken@sawlab.te.chiba-u.ac.jp
	http://www.ieice.org/~us/	
応用音響 (EA)	3/29 (機械振興会館): 一般 (申込締切済), 4/26 (機械振興会館): 音声強調・ロバスト音声認識/一般音声 (申込締切 2/15), 5/30,31 (名古屋大): 一般 (申込締切 3/15), 6/28 (機械振興会館): HDA・オーディオ・トランスデューサ/一般 (申込締切 4/15), 7/26 (東京情報大): 一般 (申込締切 5/15), 8/22,23 (東北大): 一般 (申込締切 6/15), 9/20 (NHK): マイクロホンアレイ・ブラインド分離・音源位置推定/一般 (申込締切 7/15), 10/24,25 (長岡技科大): 一般 (申込締切 8/15), 11/28,29 (熊本大): 一般 (申込締切 9/15), 12/20 (機械振興会館): アクティブノイズコントロール・音場制御・HRTF・HDA/一般 (申込締切 10/15), 1/23,24 (関西大): 一般 (申込締切 11/15), 3/28 (機械振興会館): (申込締切 1/15)	岩城正和 (NHK 放送技術研究所) iwaki@strl.nhk.or.jp
	http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/asj/EA/index-j.html	
非線形問題 (NLP)	3/15-16 (法大)[締切済], 5月 (八戸工大), 6月 (広島市立大), 7月 (茨城大), 9月 (大阪大; CAS 共催), 11月 (北海道), 12月 (東海), 2月 (九州), 3月 (東京)	池口徹 (埼玉大) tohru@nls.ics.saitama-u.ac.jp 早川美徳 (東北大) hida@cmpt.phys.tohoku.ac.jp
	http://www.nls.ics.saitama-u.ac.jp/NLP	

(次ページへ続く)

(研究会案内 続き)

VLSI 設計技術 (VLD)	3/7-8 (琉球大)「システムオンシリコン設計技術ならびにこれを活用した VLSI」, 5/23-24 (北陸先端大)「システム設計および一般」(3/15 締切), 6/27-29 (広島)「信号処理, LSI, および一般」(4/12 締切):CAS,DSP 共催, 9 月 (東京)「プロセス, デバイス, 回路シミュレーションおよび一般」, 11 月 (未定)「デザインガイア」, 1 月 (横浜)「FPGA とその応用および一般」, 3 月 (京都)「システムオンシリコン設計技術ならびにこれを活用した VLSI」, ! WWW 受け付けを http://www-ise2.ise.eng.osaka-u.ac.jp/vld/apply/ に開設しました . http://www-ise2.ise.eng.osaka-u.ac.jp/vld/	石浦菜岐佐 (阪大) vld-apply@fortune.ise.eng.osaka-u.ac.jp
情報セキュリティ (ISEC)	3/18-19 (茨城大), 5/22 (機械振興会館), 7/18-19 (東北大), 9/20 (機械振興会館), 11/14-15 (京大), 12/16 (機械振興会館), 3 月 (未定) http://grampus.jaist.ac.jp:8080/isec/	満保雅浩 (東北大学) manbow@ecip.tohoku.ac.jp
デジタル信号処理 (DSP)	3/4-5 (徳島大) (CS, CAS 共催) [発表申込締切済], 4/18-19 (機械振興会館)「画像処理、DSP、一般」(IE,MI と共催)[発表申込締切済], 5/9-10 (鳥取大)「一般」[発表申込締切 3/15], 6/27-28 (広島大)「信号処理、LSI、一般」(CAS,VLD と共催)[発表申込締切 4/12], 7/22-23 (長岡技科大)「信号処理、一般」(SST と共催), 9 月 (名大)「音声信号処理、DSP」(SP と共催), 10 月 (宮城県さくなくみ温泉)「プロセッサ、DSP および画像処理 LSI、一般」(ICD,IE と共催), 1/9-10 (北九州大)「一般」(SAT,RCS と共催), 3 月 (福島日大工学部)「信号処理、一般」(CAS,CS と共催), ! (研究会ホームページを申し込みに御利用ください.) http://www.tkhm.elec.keio.ac.jp/dsp/dsp.html	飯國洋二 (大阪大学) iiguni@comm.eng.osaka-u.ac.jp
スペクトル拡散 (SST)	3/6-8 (YRP), 3/18-19 (茨城大), 6 月 (名大), 7/22-23 (長岡技科大), 10 月 (秋保温泉), 12 月 (明大), 3/5-7 (YRP), 3 月 (未定) http://www.ieice.org/~sst	山里敬也 (名古屋大) yamazato@nuee.nagoya-u.ac.jp
コンカレント工学 (CST)	5/29 (都立大)[申込締切 3/10], 7 月 (未定) 離散事象システム, ネット理論及び一般, 11 月 (福井大) グラフ, ベトリ, ニューラルネット及び一般, 1 月 (未定) コンカレント工学理論と応用一般 http://www.ieice.org/~cst	高橋 (東工大) koji@ee.titech.ac.jp
思考と言語 (TL)	3/14 (東京工科大, 共催), 5 月 (東大), 7 月 (奈良先端大)「福祉と言語」, 10 月 (未定)「言語聴覚認知・対話」, 12 月 (東京), 3 月 (ジャストシステム) http://www.pluto.ai.kyutech.ac.jp/TL/	亀田弘之 (東京工科大) kameda@cc.teu.ac.jp
情報文化と倫理 (技術と社会・倫理) (SITE)	3/15 (千葉大) テーマ (一般), 5/17 (宇都宮大) 3/12 締切, 7 月 (岩手県立大) テーマ (一般), 10 月 (埼玉大) テーマ (一般), 12 月 (松山大) テーマ (一般), 2 月 (電通大) テーマ (一般), ! 技術と社会・倫理研究専門委員会 (SITE) に改名 http://www.ice.dj.kit.ac.jp/face/	
高度交通システム (ITS)	3/5 (東京電機大), 3/18-19 (茨城大), 5/28 (YRP) ITS 通信と一般 [申込締切 3/20], 7/25 (機械振興会館) 交通情報空間データベース, 一般 [申込締切 5/20], 9 月中旬 (大阪) 交通における計測, 一般, 11 月下旬 (産総研) ITS コア技術・ショーケース, 一般, 1 月下旬 (北海道) ITS 画像処理, 一般, 3 月上旬 (東京大阪) ITS 情報処理, 一般 http://www.com.elec.mie-u.ac.jp/ITS/	水井潔 (関東学院大) mizui@kanto-gakuin.ac.jp
安全性 (SSS)	3/20 安全性一般 (〆切済), 5/28 (東京商船大), 7/23 (東京都庁), 8/27 (関西), 10/22 (東京商船大), 12/20 (機械振興会館), 3/19 (東京商船大) http://earth.ic.kanagawa-it.ac.jp/anzen/	佐藤吉信 (東京商船大) yoshi@ipc.tosho-u.ac.jp

最新情報は <http://www.ieice.org/ess/ESS/res-j.html> または各研究
専門委員会のホームページを御覧下さい。

関連行事カレンダー

2002 年	
4月22日 ~23日	第15回 回路とシステム (軽井沢) ワークショップ (於 軽井沢プリンスホテル・西館) 投稿締切 2002年1月15日 連絡先 戸川 望 (論文担当幹事) email: togawa@env.kitakyu-u.ac.jp http://www.ieice.org/ess/kws/
7月16日 ~19日	ITC-CSCC 2002 (於 Phuket Arcadia, Phuket, Thailand) 2002 International Technical Conference on Circuits/Systems, Computers and Communications 投稿締切 2002年3月15日 連絡先 牧野光則 (中大) email: makino@hawk.ise.chuo-u.ac.jp http://www.kmutt.ac.th/itc2002
10月7日 ~11日	NOLTA 2002 (於 Xi'an International Conference Center, Xi'an, PRC) 2002 International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications 投稿締切 2002年6月2日 連絡先 web をごらんください。 http://risa.is.tokushima-u.ac.jp/NOLTA2002/

関連行事の情報を尾上までお寄せ下さい。最新情報は <http://www.ieice.org/ess/ESS/act-j.html> を御覧下さい。

英文論文誌 特集号カレンダー

特集テーマ	投稿締切日 発行月	問い合わせ先	案内掲載号 対象
コンカレントシステム 技術及びそのマルチ エージェントシステム への応用小特集 (小 特集)	2002年3月29日 2002年11月号	葛 崎 偉 (山口大学教育学部情報処理研究室) tel: 083-933-5401, fax: 083-933-5304 email: gqw@inf.edu.yamaguchi-u.ac.jp	会誌11月号 和文誌1月号
VLSI設計とCADアル ゴリズム小特集 (小 特集)	2002年3月15日 2002年12月号	浜口 清治 (大阪大学大学院基礎工学研究科情 報数理系専攻) tel: 06-6850-6577, fax: 06-6850-3054 email: hama@ics.es.osaka-u.ac.jp	会誌12月号 和文誌2月号
暗号と情報セキュリテ ィ小特集 (小特集)	2002年3月23日 2003年1月号	松崎 なつめ (松下電気産業(株) マルチメディ ア開発センター) tel: 06-6900-9182, fax: 06-6900-9183 email: matuzaki@isl.mei.co.jp	会誌1月号 和文誌3月号
アナログ回路技術小特 集 (小特集)	2002年6月22日 2003年2月号	佐伯勝敏 (日本大学理工学部電子情報工学科) tel: 047-469-5452, fax: 047-467-9683 email: ksaeki@ecs.est.nihon-u.ac.jp	会誌2月号

最新情報は <http://www.ieice.org/ess/ESS/trans-j.html> を御覧下さい。

英文論文誌小特集号の提案は、英文誌編集幹事・田口亮先生 (ataguchi@eng.musashi-tech.ac.jp) まで御連絡
下さい。

編集後記

肌寒い寒い季節ですが、インフルエンザ等で体調を壊さないようお気をつけ下さい。引続き「このような内容が欲しい」「こんな企画はいかが？」というようなご意見を、お気軽に onoye@kuee.kyoto-u.ac.jp までお寄せください。
(尾上孝雄)

平成 13 年度 基礎・境界ソサイエティ誌編集委員会

委員長 石井 六哉 (横浜国大)

委員	荒川 薫 (明大)	井家上 哲史 (明大)	池原 雅章 (慶大)	石浦 菜岐佐 (阪大)
	伊藤 和人 (埼玉大)	乾 健太郎 (九工大)	鎌田 一雄 (宇都宮大)	鎌田 賢 (茨城大)
	木村 晋二 (奈良先端大)	鈴木 喜久 (東京工芸大)	都木 徹 (NHK 技研)	田村 裕 (新潟工大)
	中田 広 (NTT)	牧野 光則 (中大)	山崎 浩一 (玉川大)	

幹事	尾上 孝雄 (京大)	真田幸俊 (慶大)
	onoye@kuee.kyoto-u.ac.jp	sanada@elec.keio.ac.jp